

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
公民 ・ 現代社会	2年 (除,音コース)	2	『高校現代社会新訂版』 (実教出版)	『最新図説現社』(浜島書店)
科目の概要 と目標	倫理的・経済的・政治的視点から現代社会の様々な原理・現象を概観するとともに、基礎的知識の定着をはかる。広い視野から自己の生き方・あり方を模索するとともに、現代社会に生きる人間として必要な判断力・思考力を養う。			
授業の進め 方	基礎的な知識、概念の定着をはかるとともに、資料を活用しながら考察を深め、自分の意見を表現する学習活動も重視する。			
評価の観点 と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用 of 技能」「知識・理解」の観点から評価を行う。 ・定期考査、課題等の提出状況を総合的に評価する。 			
	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標	
年 間 の 授 業 内 容	1 学 期	[現代の国家と民主政治]	現代の民主政治の成立過程やそのしくみについて基本的事柄を理解し、新聞などの資料も活用しつつ自分自身の問題として意欲的に考察することができる。	
		[日本国憲法と国民生活]		
		[国際政治と動向]	民主政治における個人と国家について考察し、政治参加の重要性と民主社会において主体的に生きる自覚を深める。	
	2 学 期	[現代の経済社会と政府の役割]	現代の経済や財政に関してその成立過程や内容、変遷について多角的に考察を加えつつ理解し、その知識を身につけることができる。	
		[経済活動のあり方と国民福祉]		
		[国際経済の動向]	国際社会における政治や経済の動向について理解を深めるとともに、国際社会の課題について考えようとする自覚を持てる。	
	3 学 期	[青年期と自己形成]	現代に生きる我々や我々の社会を取りまく諸問題について関心を持ち、意欲的に探求し、自分自身の生活と関連づけて考察することができる。	
		[地球環境を考える]	持続可能な社会の形成に参画するという観点から現代社会に対する理解と考察を深める。	
		[科学技術の発達と生命]	大衆社会や少子・高齢社会、進路などの諸問題に関心を持ち、グラフや表などの資料を読み解き、問題解決のために資料を活用できる。	